

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																						
		事業担当課		防災砂防課																						
事業名	<small>どうがさきいち</small> 洞ヶ崎一急傾斜地崩壊対策事業		補助・単独の別	単独	事業主体	宮城県																				
	施行地名	<small>とあだぐんわくやちようわくやあざどうがさきいち</small> 遠田郡涌谷町涌谷字洞ヶ崎一地内			管理主体	宮城県																				
		根拠法令 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律																								
事業の概要	事業目的 洞ヶ崎一は宮城県中央部の遠田郡涌谷町に位置し、保全対象として人家9戸及び町道を含むがけ高8m、勾配50度の急傾斜地である。当地区の斜面は、度重なる降雨等により斜面の風化が著しく、今後の大雨や大地震による土砂災害が懸念されていることから、地域住民からも早期対策を強く求められている。そこで、急傾斜地の崩壊による災害から地域住民や道路等を保全するため本事業を実施するものである。																									
	事業内容 法面工 L = 140m																									
	事業費 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">内用地費</th> <th>[%]</th> <th>[70 %]</th> <th>[30 %]</th> <th>() [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.80億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>0.56億円</td> <td>0.24億円</td> <td>億円</td> </tr> </tbody> </table>					全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他	内用地費		[%]	[70 %]	[30 %]	() [%]	0.80億円	億円	億円	0.56億円	0.24億円
全体事業費		費用負担内訳																								
		国	県	市町村	その他																					
内用地費		[%]	[70 %]	[30 %]	() [%]																					
0.80億円	億円	億円	0.56億円	0.24億円	億円																					
事業期間 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度～平成25年度(3年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 - 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成23年度～平成25年度(3年間)			用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成24年度														
事業期間	平成23年度～平成25年度(3年間)																									
用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成24年度																							
施設管理の予定 急傾斜地崩壊防止施設の主な管理は県となるが、側溝清掃や斜面下部の除草など簡易な維持管理は地元住民において実施することとしている。																										

事業の必要性	上位計画等	<p>・土木行政推進計画（宮城県土木部 平成13年策定 平成22年3月部分改訂）</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>社会経済情勢 平成21年7月の豪雨により山口県防府市において、土砂災害により大きな被害を受けるなど、昨今の異常気象の多発により、全国各地で土砂災害が多発している。平成21年には、発生件数1,058件、死者行方不明者22名もの被害が発生しており、土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。</p> <p>【保全施設】 人家9戸，町道</p> <p>地元情勢、地元の意見 当該地区の関係住民においては、事業の趣旨等を十分理解しており、実施について、強い要望がある。（平成20年7月30日付けで地区住民からの要望書あり）</p>
事業の有効性	事業効果	<p>想定される事業効果</p> <p>人家9戸の人命及び財産の保全 町道のがけ崩れ災害による被害を防止</p>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等																										
		なし																									
	代替案との比較検討																										
		移転適地がないことから家屋移転等の対応は困難である。																									
	コスト縮減計画																										
		調査，詳細設計未了のため今後検討予定。																									
	費用対効果																										
		<u>根拠マニュアル：治水経済マニュアル</u> (平成21年2月改定版) <u>社会的割引率： 4 %</u> <u>便益算定期間： 50 年</u> <u>基準年：平成23年</u>																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">費</td> <td style="width: 35%;">建設費</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">80百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">用</td> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">項</td> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">80百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目</td> <td>現在価値(C)</td> <td style="text-align: right;">77百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">便</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td style="text-align: right;">902百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">益</td> <td>総便益</td> <td style="text-align: right;">902百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">項</td> <td>現在価値(B)</td> <td style="text-align: right;">367百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td style="text-align: right;">4.77</td> </tr> </table>		費	建設費	80百万円	用	維持管理費	-	項	総費用	80百万円	目	現在価値(C)	77百万円	便	直接被害軽減効果	902百万円	益	総便益	902百万円	項	現在価値(B)	367百万円	目	費用便益比(B/C)	4.77
費	建設費	80百万円																									
用	維持管理費	-																									
項	総費用	80百万円																									
目	現在価値(C)	77百万円																									
便	直接被害軽減効果	902百万円																									
益	総便益	902百万円																									
項	現在価値(B)	367百万円																									
目	費用便益比(B/C)	4.77																									

環境への影響と対策	地域指定状況等											
		なし										
	影響と対策											
		緑化工法を積極的に採用し、周辺森林環境への影響を最小限とする。										
総合評価	事業箇所評価結果											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">評点による順位</th> <th style="width: 20%;">予算化された箇所数</th> <th style="width: 65%;">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1位 / 2</td> <td style="text-align: center;">2箇所</td> <td></td> </tr> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）			1位 / 2	2箇所		
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)									
	急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）											
1位 / 2	2箇所											
	対応方針											
		事業実施										

洞ヶ崎一地区 急傾斜地崩壊対策事業

みやぎけん とおだぐん わくやちょう
宮城県 遠田郡 涌谷町

洞ヶ崎一地区は、宮城県中央部の遠田郡涌谷町に位置し、保全対象として人家9戸及び町道を含む急傾斜地崩壊危険箇所である。

当該斜面は、高さH = 8 mで勾配50度の急崖斜面を呈しており、度重なる降雨等により斜面の風化が著しく、今後の大雨や大地震による土砂災害が懸念されていることから、地域住民から早期対策を強く求められている。そこで、急傾斜地の崩壊による災害から地域住民や道路等を保全するため本事業を実施するものである。



全体事業費: 80百万円
 工期: H23 ~ H25
 工種: 法枠工
 H23額: 20百万円

全体計画 L=140m A=1,500m²



全景写真